

平成 27 年度

公立大学法人静岡文化芸術大学
事業報告書

平成 27 年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業報告

平成 27 年度の事業については、第 1 期中期計画の最終年度であることを踏まえ、その達成に向けて、これまでの事業内容と進捗状況を検証し、本学の将来を見据えて、教育の充実、学生支援の充実、研究の推進、地域貢献及び国際交流の推進、FD・SD 活動の推進等を重点に置いて、次のとおり実施した。

1 法人運営管理

(1) 役員会、経営審議会、教育研究審議会及び参与会の開催等

ア 役員会

役員会を 12 回開催し、法人及び大学の管理・運営に関する事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第 1 回	4 月 22 日	・受託事業について
第 2 回	5 月 13 日	・公立大学法人静岡文化芸術大学職員就業規則の一部改正について ・非常勤講師の委嘱について (協議事項) ・平成 26 年度 年度実績(案)について
第 3 回	6 月 24 日	・平成 26 年度 事業報告及び決算報告(財務諸表等)について ・平成 26 年度 実績報告について ・公立大学法人静岡文化芸術大学職員給与規程及び教員給与規程の一部改正について ・公立大学法人静岡文化芸術大学職員退職手当規程の一部改正について ・静岡文化芸術大学授業料等の減免に関する規程の一部改正について ・専任教員の採用募集について ・専任教員の選考採用実施方針(案)について ・非常勤講師の委嘱について ・受託事業について
第 4 回	7 月 15 日	・専任教員の採用について ・非常勤講師の委嘱について ・受託事業について
第 5 回	9 月 9 日	・県が策定する次期中期目標(案)に対する意見について ・公立大学法人静岡文化芸術大学無料職業紹介業務運営規程の制定について ・専任教員の採用について ・任期付教員の再任について ・非常勤講師の委嘱について ・理事長の専決処分の承認について ・受託事業について
第 6 回	10 月 14 日	・静岡文化芸術大学大学運営会議規程の制定について

回数	開催日	議案等
第7回	11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員の採用について ・非常勤講師の委嘱について ・理事長の専決処分の承認について ・受託事業について
第8回	12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度 収支補正予算（案）について ・平成28年度 予算編成基本方針（案）について ・「社会人専門講座」の開講に伴う関連規程の改正等について ・非常勤講師の委嘱について ・理事長の専決処分の承認について （協議事項） ・次期中期計画（案）について
第9回	1月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・次期中期計画（案）について ・マイナンバー制度に係る基本方針及び取扱規程の制定について ・非常勤講師の委嘱について
第10回	2月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡文化芸術大学副学長及び同文化・芸術研究センター長の選任について ・非常勤講師の委嘱について
第11回	3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・給与関係規程の一部改正について ・法人及び大学の組織設置等に伴う関係規程等の制定及び一部改正について ・静岡文化芸術大学大学院学則の一部改正について ・公立大学法人静岡文化芸術大学の研究活動における不正防止に関する規程の一部改正について ・障害者差別解消法の施行に伴う諸規程の制定について ・非常勤講師の委嘱について ・受託事業について （協議事項） ・平成28年度 事業方針（案）について ・平成28年度 年度計画（案）について ・平成28年度 事業計画（案）について
第12回	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 事業方針（案）について ・平成28年度 年度計画（案）について ・平成28年度 事業計画（案）について ・平成28年度 当初予算（案）について ・平成27年度 収支補正予算（案）について ・有期契約職員に係る給与関係規程の一部改正について ・公立大学法人静岡文化芸術大学会計規則の一部改正について ・公立大学法人静岡文化芸術大学の安全衛生管理に関する規程の一部改正について ・静岡文化芸術大学教員学外研修に関する規程の一部改正について ・名誉教授の称号授与について ・非常勤講師の委嘱について

		<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業について ・平成 28 年度 特別研究費及びイベントシンポジウム開催費等の配分について
--	--	---

イ 経営審議会

経営審議会を 7 回開催し、法人及び大学の経営に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第 1 回	5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・公立大学法人静岡文化芸術大学職員就業規則の一部改正について (協議事項) ・平成 26 年度 年度実績 (案) について
第 2 回	6 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度 事業報告及び決算報告 (財務諸表等) について ・平成 26 年度 実績報告について ・公立大学法人静岡文化芸術大学職員給与規程及び教員給与規程の一部改正について ・公立大学法人静岡文化芸術大学職員退職手当規程の一部改正について ・静岡文化芸術大学授業料等の減免に関する規程の一部改正について
第 3 回	9 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学長選考会議構成員の選出について ・県が策定する次期中期目標 (案) に対する意見について
第 4 回	12 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度 収支補正予算 (案) について ・平成 28 年度 予算編成基本方針 (案) について (協議事項) ・次期中期計画 (案) について
第 5 回	1 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・次期中期計画 (案) について
第 6 回	3 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・給与関係規程の一部改正について (協議事項) ・平成 28 年度 事業方針 (案) について ・平成 28 年度 年度計画 (案) について ・平成 28 年度 当初予算 (案) について
第 7 回	3 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度 事業方針 (案) について ・平成 28 年度 年度計画 (案) について ・平成 28 年度 事業計画 (案) について ・平成 28 年度 当初予算 (案) について ・平成 27 年度 収支補正予算 (案) について ・有期契約職員に係る給与関係規程の一部改正について

ウ 教育研究審議会

教育研究審議会を12回開催し、大学の教育研究に関する重要事項を審議した。

回数	開催日	議案等
第1回	4月16日	(報告事項のみ)
第2回	5月14日	・静岡文化芸術大学スチューデント・アシスタントに関する実施要領の制定について
第3回	6月4日	・平成26年度実績報告(案)について
第4回	7月2日	(報告事項のみ)
第5回	8月6日	(報告事項のみ)
第6回	9月3日	・県が策定する次期中期目標案に対する意見について ・本学を会場とする学会の開催について
第7回	10月8日	・学長選考会議構成員の選出について
第8回	11月12日	(報告事項のみ)
第9回	12月3日	・「社会人専門講座」の開講に伴う関連規程の改正について
第10回	1月7日	・次期中期計画(案)について
第11回	2月4日	・留学生派遣に関する危機管理サービスへの加入について ・海外留学支援特別奨学金給付に関する実施要領の制定について
第12回	3月3日	・平成28年度事業方針(案)について ・平成28年度年度計画(案)について ・スチューデント・アシスタントに関する実施要領の改正について ・荒天時における授業の取扱いについて ・障害者差別解消法関連規程等の制定について ・入学試験・高校大学連携センターの設置について

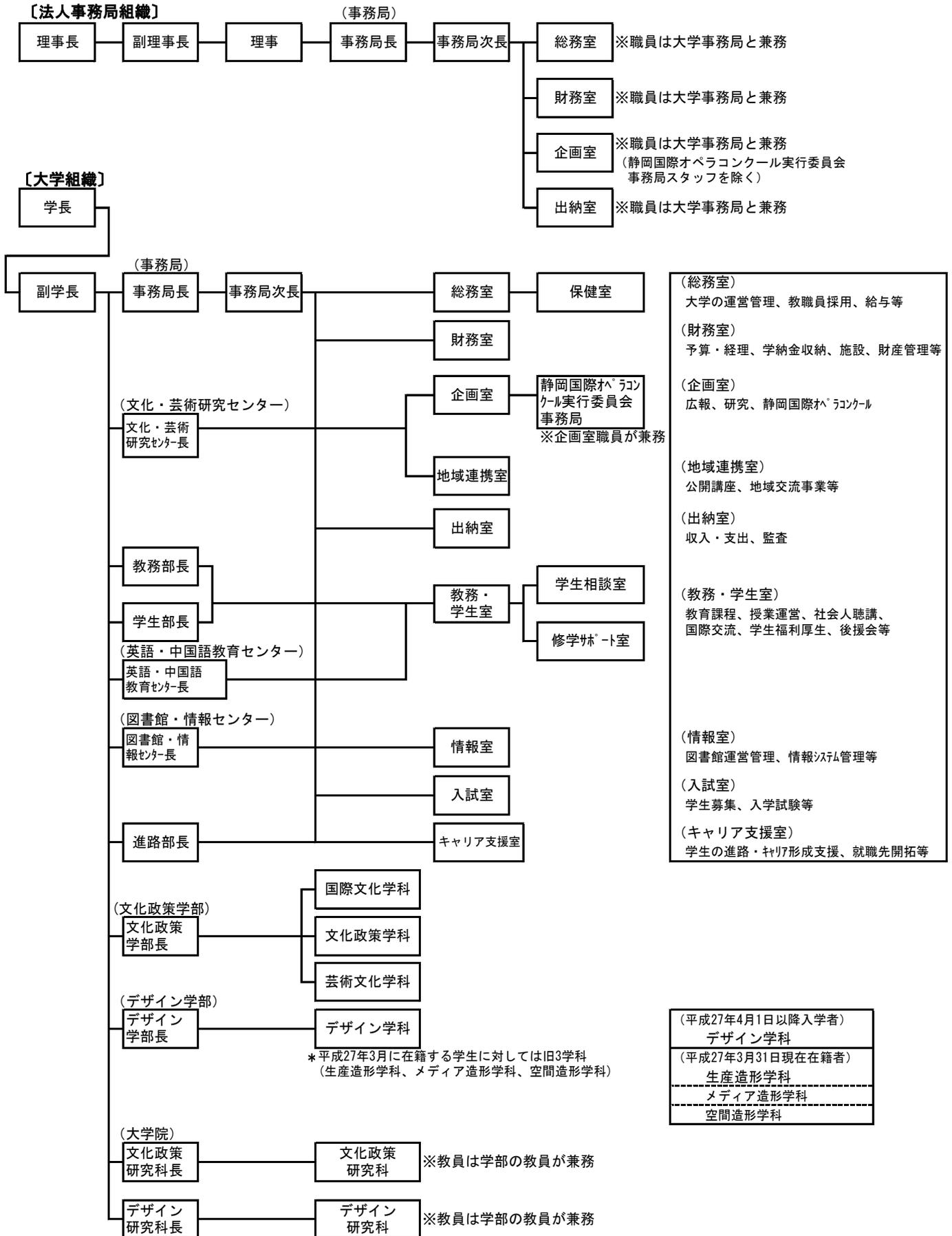
エ 参与会

法人及び大学の運営に関する外部の意見を反映するため、参与会を1回開催した。

区分	開催日	提案された主な意見等
第1回	2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・本学の教育内容は、社会が求める方向性とマッチしているので、時代の流れに対応した人材を育成するとともに、特色ある研究活動を推進してほしい。 ・地域の各種文化事業へ積極的に学生を参加させてほしい。 ・「文化政策学部」という名称からはその内容が分かりにくいいため、変更することを薦める。今のところ志願倍率は高いので、大学として体力のあるこの時期に大胆な改革をすべきである。 ・卒業展からは日本人の文化や生活に根ざした香りが感じられるが、県西部寄りの印象が強いので、地理的な感覚がもう少し広がるとうい。 ・浜松市中山間地域の活性化に取り組むなど、地域のことに取り組んでいる姿勢が感じられ、今後も継続してほしい。また、本学の魅力を海外に発信し、留学生への門戸を開き受け入れてほしい。

(2) 法人及び大学組織

法人及び大学組織としてそれぞれに職員を配置し、法人及び大学運営を執行した。



(3) 運動場用地の借用等

- ・所在地：浜松市北区初生町（県有地） ・面積：8,584 m²
- ・賃借料：無償

(4) 教職員住宅の確保

ア 所有住宅

- ・名称：ビオラ田町（浜松市中区田町） ・戸数：25 戸

イ 借上住宅

ビオラ田町に入居できない教職員で、教職員住宅を希望する者に対して、3 戸の借上住宅を提供した。

(5) 校舎管理

ア 大学校舎の警備、清掃及び設備管理等を業者委託により実施した。

(ア) 主な委託業務内容

警備業務：24 時間体制の有人による警備

清掃業務：床、窓、トイレ等の定期的な清掃

設備管理：中央制御監視又は遠隔操作等による 24 時間管理体制、設備保守等は有人による管理

(イ) その他：電話、電気、消防用施設、昇降機、植栽等の管理業務を委託

イ 施設・設備の整備

更新の必要な時期を迎える施設・設備等のうち、劣化度や優先度の高い箇所（工房や研究棟等）の空調設備の更新、講義室や講堂の AV 設備の更新等を実施した。

2 教育研究の実施

(1) 授業実施等

ア 学生の状況（学部）

（平成 27 年 5 月 1 日現在）

学部名	学科名	定員 (人)	学 生 数 (人)						
			1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	合 計		
							計	男子	女子
文化 政策 学部	国際文化学科	100	122	110	116	124	472	98	374
	文化政策学科	50	61	59	53	57	230	60	170
	芸術文化学科	50	57	57	56	58	228	32	196
	小計	200	240	226	225	239	930	190	740
デザ イン 学部	生産造形学科	40	—	47	44	52	143	43	100
	メディア造形学科	30	—	35	36	40	111	18	93
	空間造形学科	30	—	33	36	35	104	29	75
	デザイン学科	100	119	—	—	—	119	30	89
	小計	100	119	115	116	127	477	120	357
計		300	359	341	341	366	1,407	310	1,097

* 平成 27 年 4 月から、デザイン学部 3 学科（生産造形学科、メディア造形学科、空間造形学科）をデザイン学科の 1 学科に再編した。定員は旧 3 学科を除く。

イ 学生の状況（大学院） （平成 27 年 5 月 1 日現在）

大学院	定員 (人)	院 生 数 (人)				
		1 年生	2 年生	合 計		
				計	男子	女子
文化政策研究科	10	8	10	18	7	11
デザイン研究科	10	10	14	24	13	11
計	20	18	24	42	20	22

ウ 授業日程等

日 程	授業等
4 月 7 日	入学式
10 日	開学記念式（開学記念日：4 月 13 日）
13 日	前期授業開始
8 月 8・9 日	オープンキャンパス（参加数：3,095 人）
8 月 12 日	前期授業終了（集中講義等も含む。）
10 月 1 日	後期授業開始
11 月 7・8 日	碧風祭
2 月 19 日	後期授業終了（集中講義等も含む。）
3 月 15 日	卒業式

エ FD（ファカルティ・ディベロップメント）の取組み

教育・FD 委員会において、組織的に教員の授業改善・教育の質の向上の意識啓発を図るとともに、効果的な FD 活動を実施した。

- ・学部情報交換会の実施
- ・授業公開・授業見学の実施
- ・学科・研究科 FD 研修会の実施
- ・FD ニュースレターの発行
- ・他大学等の情報収集と研修への参加
- ・新任教員研修の開催
- ・授業に関するアンケートの実施

オ 教育課程の改正等

- ・デザイン学部を 3 学科（生産造形学科・メディア造形学科・空間造形学科）から 1 学科に再編、「デザイン学科」を新設した。
- ・平成 26 年度に決定した学部新教育課程を平成 27 年度入学生から適用を開始した。
- ・新教育課程から新規に開設され、地域社会と関わりながら地域課題への理解を深める「地域連携実践演習」には、前後期あわせて 47 のプログラムに対し、146 人がエントリーをし、各プログラムの担当教員の指導のもと活動を行った。
- ・学部においては平成 27 年度入学生から、履修登録の上限単位数を定める「CAP 制度」と、成績評価の平均値を数値で示す「GPA 制度」を適用し、単位の実質化を図った。
- ・新教育課程から、学部生に対して英語又は中国語で 8 単位取得（これまで 4 単位取得）することを卒業要件とし、英語においては科目数及びクラス数を倍増するとともに、

より一層の語学教育の充実を図った。

- ・新教育課程から、TOEIC等の外部検定の結果を「外部検定A・B」(1単位)として単位認定するとともに、本学で実施している夏季語学研修や、学生が民間業者を利用した海外語学研修を「集中語学研修A・B」(1単位)又は「短期語学留学A・B」(2単位)として単位認定の対象とした。
- ・平成26年度から英語教育の教育効果測定を行う目的として、英語科目履修者にTOEIC・IPテストを実施し、平成27年度も継続して実施した。なお、平成26年度まで新入生全員にTOEIC・Bridgeテストを実施していたが、より正確な効果測定を行うため、平成27年度新入生全員にTOEIC・IPテストを実施し、今後も同テストを実施することとした。

カ 学籍・教務情報システムの活用

- ・平成25年度後期から導入した学籍・教務情報システムを活用して、平成26年度から引き続き、Web履修登録、Webポータル、出席管理、課題レポート機能などの運用を行った。

キ 成績通知書の保証人への送付(新規)

- ・平成27年度から保証人に対し、前期末と後期末の年2回、成績通知書の送付を開始した。

(2) 科目等履修生及び社会人聴講生の受入れ

- ア 受入時期 年2回(出願時期 前期:2月、後期:8月)
- イ 受入人数 1科目につき5人程度
- ウ 履修科目 本学開設科目のうち、科目等履修生及び社会人聴講生公開科目
- エ 履修期間 原則6か月以内
- オ 受講者数 (人)

区分	前期		後期	
	実人数	延人数	実人数	延人数
科目等履修生	0	0	2	23
社会人聴講生	148	212	127	174
計	148	212	129	197

(3) 研究生及び委託生の受け入れ

- ア 入学時期 学年又は学期初め
- イ 研究期間 1年以内
- ウ 研究方法 指導教員の指導を受け、研究に従事する。
- エ 入学者数 (人)

区分	区分	1年間	半年	備考
研究生	文化政策学部	1	0	
	デザイン学部	1	0	
委託生	文化政策学部	0	0	官公庁、学校及び 団体に所属する職 員
	デザイン学部	0	1	
計		2	1	

(4) 教員研究の実施

学内特別研究費の配分方針に基づいた配分及び外部資金の活用等により、積極的な研究の推進を図った。

ア 学内特別研究費による研究

ユニバーサルデザイン等の3つの重点目標研究領域を設定し、組織的、戦略的な研究活動を推進するとともに、学長等特別研究費による研究を実施した。

- ・学長等特別研究費による研究件数 24件 配分額 27,725千円
- イ 外部資金を活用した研究
科学研究費補助金を活用した研究を実施した。
 - ・実施件数 30件 19,226千円
(新規採択4件、継続9件、期間延長2件、他機関からの転入1件、他機関研究者との分担研究14件)
- ウ 共同研究及び受託研究、受託事業
外部機関(企業・自治体等)との共同研究を実施した。
 - ・共同研究 6件 4,236千円
(作業工具の人間中心評価の確立、浜松市における中間支援組織等のあり方に関する研究ほか)
 - 外部機関(企業・大学・自治体)からの受託研究、受託事業を実施した。
 - ・受託研究 4件 3,528千円
(世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証、工業用X線デジタルパネルのデザインほか)
 - ・受託事業 12件 7,843千円
(建築学の応用によるハウスカスタマイズ商品の開発、平成27年度富士山世界遺産センター(仮称)シンボルマーク等作成業務ほか)

3 大学広報及び学生募集

本学に相応しい学生を確保するため、新聞掲載等の各種広報や学校説明会等の学生募集事業を実施した。

平成27年度入試の結果概要及び平成28年度入試の実施方法の周知を広報内容の重点とし、またオープンキャンパスにおいては、入試概要説明のコーナーや個別受験相談のコーナーを設置するなど効果的な広報を行い、参加者数は3,000人を超えた。

(1) オープンキャンパスの実施

- ア 開催日 8月8日(土)及び8月9日(日)
- イ 事業内容 大学説明、学科説明、模擬授業、受験相談、実技講習会等
- ウ 参加対象 高校生を中心とした受験生
- エ 参加者数 3,095人

(2) 高校訪問等

教職員が県内外の高校等を訪問し大学のPR等を積極的に行った。(延べ1,633件)

また、静岡県内国公立大学合同入試説明会(年間8回、三島・静岡・浜松・名古屋・豊橋にて開催)に参加し、本県の東部地区及び愛知県三河地区を重点対象地区として積極的に広報を行った結果、当該地区から一定数の入学者を確保することができた。

- ・県東部地区 23人(H24)→28人(H25)→22人(H26)→23人(H27)→24人(H28)
- ・愛知県 70人(H24)→75人(H25)→79人(H26)→64人(H27)→72人(H28)

(3) 広報媒体による大学広報

新聞、受験雑誌、掲示広告等により入口(入学者募集)・中身(教育研究、学生生活)・出口(就職支援)に係る広報を実施した。

(4) パンフレット等の作成

受験生向け・一般向けの大学パンフレット、大学院パンフレット、卒業研究制作作品集(カレンダー形式)等に加え、学生スタッフの制作による大学情報誌『SUAC! For YOU』を新規作成し、高校や予備校等に配付した。また、それに加えて国際交流に本学が力を入れていることをアピールするためのパンフレットを新たに作成した。

(5) Webサイトによる情報提供

入試情報、イベント開催情報、研究活動情報などをWebサイトにより積極的に発信した。また、教員の研究や学生の取り組み状況を紹介するWebマガジン「SUAC VOICE」や大学の概要が簡潔に分かるサイトを開設した。

(6) 大学院の学生募集

研究意欲のある優秀な院生を確保するため、デザイン研究科において、前年に引き続き学内推薦入試を実施し、この入試制度による入学者を1名得ることができた。

4 入学試験の実施

(1) 学部学生

ア 募集人員 300人（入学定員と同数）

イ 募集方法 一般選抜（前期日程・後期日程）、特別選抜（推薦入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試）

ウ 試験時期

区 分		文化政策学部	デザイン学部
一般選抜	前 期 日 程	2月25日、26日	
	後 期 日 程	3月12日	
推薦入試		11月21日	
社会人入試		11月21日	
帰国生徒入試		11月21日	2月25日
外国人留学生入試		11月21日	2月25日

* 大学入試センター試験は、1月16日・17日 * 試験会場はすべて本学

エ 入学試験結果

志願者数 1,949人（志願倍率 6.50倍）

合格者数 408人、入学者数 342人

(2) 大学院生

ア 募集人員 20人（入学定員と同数）

イ 試験時期

区 分		試験時期
学内推薦	デザイン研究科	6月12日
A日程	デザイン研究科	7月25日
B日程	文化政策研究科	9月19日
C日程	デザイン研究科	2月13日
	文化政策研究科	

ウ 入学試験結果

志願者数 19人（志願倍率 0.95倍）

合格者数 17人、入学者数 16人

5 学生の支援等

(1) キャリア・デザイン教育

ア 社会人基礎力養成講座の実施

社会で仕事をしていく上で必要な基礎力を身に付け、生涯を通じたキャリア形成を考えさせるため、1年生向けに社会人基礎力養成講座を実施した。（3回、延べ167人）

イ インターンシップの実施

就職活動が始まる前の段階から、「自分が目指したい将来の姿」を明確化できるよう、1、2年生向けにインターンシップを実施した。（24人、延べ64社）

(2) 進路支援

＜第13期生の就職状況＞

(平成28年3月31日現在)

	卒業者数 (人)	就職希望者数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
文化政策学部	213	189	184	97.4
デザイン学部	105	80	73	91.3
計	318	269	257	95.5

ア 個別面談の実施

3年生全員を対象に個別面談を行い、進路指導と面談結果を踏まえた就職支援を実施した。(306人)

イ 就職相談の実施

学生から寄せられる就職に関する各種相談に応じた。(通年)

ウ 就職ガイドブック等の配布

就職活動の仕方などを記載した「就職ガイドブック」、内定者の報告をまとめた「就職活動体験記」を作成し、3年生及び教職員に配布した。

エ 企業等訪問及び情報交換会等の実施

県内外の企業等の訪問を行い、就職先の開拓等を図った。なお、企業訪問を担当する専門職員により、愛知県等の県外企業への就職先の開拓や情報収集を実施した。

デザイン関係企業等の採用担当者を招き、教職員等との情報交換会を開催した。(26社)

オ 求人依頼

静岡県内企業を中心に、求人票・大学概要パンフレットを送付し、就職先の開拓を図った。(全国7,064社)

カ 就職ガイダンス等の実施

- ・学内就職ガイダンス (全6回)
- ・キャリア支援セミナー (企業を招いての業界研究) (延べ346人)
- ・合同会社説明会 (2日64社、延べ245人)
- ・浜松地域企業セミナー (愛知県、県西部地区の8大学合同実施) (32人)
- ・県外の就職ガイダンスへの参加 (東京、名古屋へのバスツアー) (延べ97人)

キ 就職支援講座の実施

講座名	区分	受講者数(人)
公務員試験直前講座	教養科目	32
	専門科目	20
公務員試験対策講座	教養科目	53
	専門科目	16
パソコン MOS 試験対策講座		37
FP3級試験対策講座		15
簿記3級試験対策講座		8
SPI 講座		161
模擬面接・グループディスカッション講座		85

試験名	受験者数(人)
適性検査 (CAREER APPROACH)	288
エントリーシート対策テスト	103
秘書検定学内団体試験	57

ク 求人情報等の案内

Web を活用した求人検索システムや、求人情報や各種就職関連情報をメールで伝達するシステムなどを活用し、学生への情報提供を行った。

ケ デザイン専門職への就職支援

デザイン専門職を応募する際に必要なポートフォリオの作り方について、ポートフォリオ講座を実施した。

コ 首都圏等での就職活動拠点の整備

学生が首都圏や名古屋等で就職活動をする際の拠点施設として、民間サービスを利用した支援を行った。

(3) 学習支援

図書館の開館時間の延長、学習支援に係る奨学金を支給するなど、学生の学習環境整備や支援等を継続するとともに、留学奨励のための給付金制度を新設した。また、精神面の問題を抱える学生や発達障害の学生の修学を支援するために設置した修学サポート室において、サポートを必要とする学生からの相談に対応した。

(4) 生活支援

生活保護世帯の学生及び経済的に困難であると認められる学生に対する学納金の減免を継続するとともに、カウンセラーによるメンタルヘルスの相談及びランチフォーラムなどの学生相互の交流の場を提供するなど、学生生活向上に結びつく相談及び指導等の支援活動を随時実施した。

(5) その他

「静岡文化芸術大学の学生の諸活動に対する支援の取扱方針」に基づき、学生の諸活動に対して、16件 1,628千円の支援を実施した。

6 交流事業等の実施

(1) 文化・芸術研究センター事業

両学部の有機的な連携のもと、文化、芸術分野等の研究、交流、情報発信などの事業を実施した。

ア 文化芸術セミナー、公開講座の開催

・セミナー、イベント・シンポジウム、ワークショップ等

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
5月29日	280 講義室	浜松の音楽イベントを知る、学ぶ ー課題と可能性、文芸大の役割とはー	42人
7月4日	280 講義室	「第10回 多文化子ども教育フォーラム ～ブラジルと日本の学校文化の比較～」	80人
7月5日	ギャラリー	「内山咲子イラストレーション展」 市民や学生向けのワークショップ	15人
7月7日	自由創造工房	「わーくしょっぷ 文楽一夕」 見・聞・触 のぞいてみよう文楽の世界	70人
9月26日	自由創造工房	錯視模様を利用したワークショップ	20人

10月17日	280 講義室	浜松で考える 多文化共生のフロンティア (基調講演、多文化共生をめぐる代表的研究者4人の報告、全体討論会)	120人
10月24日	万年橋 パークビル	イタリア仮面劇ワークショップ	19人
11月8日	浜松市武道館	第5回めばえの親子じゅうどう教室	300人
11月12日	281 講義室	平成27年度研究成果発表会	100人
11月13日	講堂	「浜松 楽器の事典 ピアノ特別編」 シンポジウム 音楽コンクールと音楽文化 1. ピアノ演奏 2. トークセッション	95人
11月22日	講堂	第2回 SUAC×SPAC 連携シンポジウム「MASK」	130人
12月1日 12月8日 12月22日	講堂	美術と音楽の西洋史【全3回】 ～ルネッサンス、バロック、新古典主義・ 古典派～ 第1回「ルネッサンス」(88人) 第2回「バロック」(95人) 第3回「新古典主義・古典派」(90人)	273人
12月9日 1月18日 2月8日	176 大講義室	イブニングレクチャー2015 【イブニングレクチャー2015 秋】 【イブニングレクチャー2016 新春】 【イブニングレクチャー2016 春】	360人
12月12日	ギャラリー	ワヤンバリ島の影絵人形芝居のワーク ショップ	15人
12月16日	講堂	浜松・中山間地域づくりシンポジウム 「まちなかりレーション市民交流会議」	200人
12月25日	図書館	二十五絃箏コンサート 「野宮 -恋をめぐる狂気と葛藤-」	100人
1月26日	176 講義室	地域メディアの現在と、そこから生まれる 可能性	85人
2月6日 2月7日 2月8日 2月9日 2月10日 2月11日	280 講義室	メディアデザインウィーク 2016 講演1「キーボード・奏法・音楽の進化」 講演2「ゲームを作る」 講演3「デザインの教育・役割、新時代へ」 講演4「錯視立体のデザイン」 講演5「情景の造形」 講演6「激動するコミック界、その現在・ 過去・未来」	300人
2月21日	静岡新聞ホール (浜松市)	「第2回全国アートマネジメント会議」	120人

・公開講座

SUAC前期公開講座：テーマ「榮久庵憲司とデザインの世界」

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
7月4日	講堂	I 西洋のデザイン・日本の飾り	200人
		II シンポジウム「食文化と生活デザイン」	
7月11日	176 講義室	III もの文化のデザイン	75人
		IV 道具から空間へ	
7月18日	176 講義室	V 浜松とデザイン	80人
		VI 日中デザイン文化交流を振り返る	
総聴講者数			355人

SUAC後期公開講座：テーマ「世界情勢の現在(いま)を読み解く」

実施日	場所(会場)	内容	参加者数
10月31日	176 講義室	国際関係の変動と地政学	144人

11月14日	176 講義室	アジアの相互理解のために	84人
11月28日	176 講義室	多様性のある創造的共同体に向けて	69人
12月12日	176 講義室	アジア半球の時代をどう生き抜くか ～インテリジェンスを武器に～	159人
総聴講者数			456人

・公開工房

夏季公開工房

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
8月29日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	7人
		石膏デッサンを描いてみよう	16人
		テキスタイル (手織り)	9人
8月30日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	7人
		石膏デッサンを描いてみよう	16人
総参加者数			55人

春季公開工房

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
3月19日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	7人
		石膏デッサンを描いてみよう	20人
		テキスタイル (手織り)	10人
		体験 デジタル・ハンディクラフト	5人
3月20日	自由創造工房 デッサン室	銅版画を作成しよう	7人
		石膏デッサンを描いてみよう	19人
		テキスタイル (手織り)	10人
		体験 デジタル・ハンディクラフト)	2人
総参加者数			80人

イ 産学官連携の推進

・研究・開発成果発表会

実施日	場所 (会場)	内容等
6月12日	浜松工業技術 支援センター	浜松工業技術支援センターが主催する「第8回研究・ 開発成果発表会～県西部地域の技術連携&産業発展 を促進～」に本学の教員が発表者として参加 【発表者】デザイン学科 教授 望月達也 ・ポリゴンデータの品質と 3D-CAD モデリングに ついて

・はましんビジネスマッチングフェア 2015

実施日	場所 (会場)	内容等
7月22日 23日	アクトシティ浜 松展示イベント ホール、研修交 流センター音楽 工房ホール	第9回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2015 に出展 (企業紹介ブース) し、大学紹介パネル展示、 各種パンフレット配布や産学連携事業や共同研究等 の相談窓口を開設 (250 企業・団体 298 ブース)

・UD+in はままつ

実施日	場所 (会場)	内容	参加者数
8月21日	浜松市地域情報 センターホール	UD+in はままつ 2015 シンポジウム 『外出を楽しむ、移動とコミュニケーションの UD 支援』 主催：UD+in はままつ 2015 実行委員会 (静岡県・浜松市・静岡文化芸術大学)	137人
8月22日	浜松市ギャラリ ーモール 「ソラモ」	UD+in はままつ 2015 「展示体験会」 主催：UD+in はままつ 2015 実行委員会 (静岡県・浜松市・静岡文化芸術大学)	4,800人

・二輪デザイン公開講座

実施日	場所（会場）	内容等
8月23日 24日	280講義室 自由創造工房 総合演習室 クレイモデル室	公益財団法人自動車技術会デザイン部門委員会が主催する「第3回二輪デザイン公開講座」に協力し、本学の施設を提供 講座には、全国のデザイン系12大学から選抜された30人の学生（うち、本学3人）が2日間参加し、国内バイクメーカー4社の現役デザイナーが直接講座、指導を実施。なお、公開講座のみ一般公開で実施 【内容】 ・デザイン公開講座（対象：一般、学生） ・バイクデザイン基礎講座（対象：学生） ・デザイナーの卵要請講座（対象：学生）

・いわた産業振興フェア

実施日	場所（会場）	内容等
11月13日 14日	アミューズ豊田	第5回いわた産業振興フェアに出展し、大学紹介パネル展示、各種パンフレット配布や産学連携事業や共同研究等の相談窓口を開設（150企業・団体が出展）

・いわしんビジネスコンテスト

実施日	場所（会場）	内容等
11月17日	磐田グランドホテル	第14回いわしんビジネスコンテスト（最終選考会） 【協力体制】 審査委員：デザイン学科 教授 黒田宏治 実行委員：静岡文化芸術大学（地域連携室員）

ウ 地域文化事業の実施、協力

・室内楽演奏会 2015

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
6月8日	講堂	沖縄のうた～命薬としての音楽 沖縄音楽レクチャーコンサート	240人
10月17日	龍山 森林文化会館	「風と川と音と」 （龍山に響くパイプオルガンコンサート）	144人
11月13日	自由創造工房 講堂	バンバン！ケンバン♪はままつ2015 （2公演） ・チェンバロ（アコースティック、電子） ・ピアノ	190人
3月20日	講堂	時代に抗う作曲家たち～芸術というもう一つの武器（ピアノ）	180人

・特別公開講座「薪能」

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
10月7日	講堂	第一夜：能講座 第1部 『頼政』あらすじ解説 第2部 北澤秀太氏（能面師）による講演 第3部 熊倉 功夫学長による講演	250人
10月8日	出会いの広場	第二夜：薪能公演 狂言 和泉流創作狂言 「無限魚箱」 仕舞 観世流「高砂」「芭蕉」「野守」 能 観世流「頼政」	650人

・ユニバーサルデザイン絵本コンクール 2015 及び作品展示

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
10月21日 11月14日 ～19日 2月15日 ～18日	ギャラリー 浜松市役所 市民ロビー 大崎ゲート シティホール	ユニバーサルデザイン 絵本コンクール 2015 及び作品展示会	1,630人

・イタリア仮面劇の上演

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
10月23日	講堂	イタリア伝統の仮面劇 「コッメディア・デッラルテ」	210人

・ワヤン上演会

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
12月19日	ギャラリー	ワヤン上演会「ムナラ・ギリ」	50人

・学生自主企画

実施日	場所（会場）	内容	参加者数
7月15日	ギャラリー	SUAC×落語 ・桂文治 落語会	110人

エ その他

文化・芸術研究センターニュースレター「文化と芸術」の発行

文化・芸術研究センターを拠点として行っている、本学の研究やイベント等の成果や活動内容を紹介するニュースレターとして「文化と芸術」を年2回（9月、3月・各1,200部）発行した。

(2) 国際交流事業

国際交流の推進を図るため、次の事業を展開した。

大学名（国名）	事業内容
湖西（ホソ）大学校（韓国）	交換留学受入・派遣 <受入> 27. 4-27. 8 /1名 27. 4-28. 3 /3名 27.10-28. 3 /1名 27.10-28. 8 /1名 <派遣> 27. 8-27.12 /1名
浙江大學城市学院（中国）	交換留学受入・派遣 <受入> 27.10-28. 3 /3名 <派遣> 27. 9-28. 7 /1名
フィンドレー大学（アメリカ）	留学生派遣 27.8-28.4 /3名
フランス・ブルゴーニュ大学国際フランス語センター（フランス）	留学生派遣 28.2-28.5 /1名
アイルランガ大学（インドネシア）	交換留学受入・派遣 <受入> 27. 4-28. 3 /3名 <派遣> 27. 8-28. 7 /1名
ボローニャ大学（イタリア）	交換留学受入・派遣 <受入> 27.10-28. 3 /1名 <派遣> 27. 9-28. 2 /4名
イズミル経済大学（トルコ）	交換留学 <受入> 27.10-28. 3 /1名

(3) 大学の地域開放事業

本学の設置理念である“開かれた大学”の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 図書館・情報センターの開放

実施日	月曜日～土曜日（原則）
実施内容	利用対象者 20才以上の静岡県内在住・在勤者等 利用時間 平日：8時45分～20時、土曜日：10時～16時 利用範囲 図書の見学、貸出等 登録者数 526人（平成28年3月末現在） 利用者数 4,867人／年 貸出冊数 2,116冊／年

イ 自由創造工房の開放

実施日	月曜日～金曜日（原則）
実施内容	利用対象者：中学生以上 活用方法：テキスタイル、木工、PCソフト活用等による創作活動 会員登録者数：9人（平成28年3月末現在、会員期限有効者） ※夏季及び春季に本学教員による公開工房を実施 （参加者数：夏季55人、春季80人）

ウ 施設見学

小・中・高校生、市民、学外機関等を対象に年間を通じて施設見学を実施するとともに、「県民の日」事業として大学施設を公開した。平成27年度には1,574人の見学があり、うち小・中学校の総合学習（ユニバーサルデザイン施設見学）の場として、10校から863人（引率者除く）の児童・生徒を受け入れた。

7 図書館・情報センター事業

「静岡文化芸術大学図書館・情報センター資料収集方針」に基づき資料を収集したほか、図書館・情報センターだより「温故知新」を刊行し、大学内や県内公立図書館へ配布した。また、学部新入生全員を対象に必修科目「学芸の基礎」（導入教育）の中で「資料探索法」を行い、図書館の活用法やデータベースの利用法についての講義及び館内ツアー等を実施したほか、学内イベント関連等の企画展示を行った。

運営面では、開館時間の延長（開館時刻の繰り上げ・閉館時刻の繰り下げ）を引き続き実施した。

・図書館・情報センター資料所蔵数 （平成28年3月31日現在）

区分	図書（冊）	視聴覚資料（点）	雑誌（種）
日本語資料	201,591	6,463	1,304
外国語資料	23,792	842	236
合計	225,383	7,305	1,540

・図書館・情報センター利用状況 (平成 27 年度)

区 分	入館者数 (人)	貸出冊数 (冊)	開館日数 (日)
総 数	113,016	36,367	284
(うち学生)	101,482	30,478	—

・他の図書館との相互協力 (平成 27 年度)

区 分	資料貸借 (件)	文献複写 (件)	備 考
依 頼	112	606	—
受 付	82	182	—
合 計	194	788	—

8 英語・中国語教育センター事業

(1) 英語・中国語の学習支援活動

次のとおり学習支援活動を実施した。

ア 英語・中国語教育センターイベント

各種学習サポート、Book Club、Movie Club、英語ランチ、中国語コーナー、ESS 等

イ インターナショナル・コミュニティー・フォーラム

浜松在住の外国籍の方をゲストスピーカーとして招き、英語による各国の紹介、ディスカッション、質疑応答を年間 6 回行った。

ウ センター・ニュースレター等の発行

ニュースレター、イベントカレンダー (毎月)、センターパンフレット (年度初め) の発行を行った。

エ 検定試験対策

TOEIC テスト対策として試験の準備・対策を 12 月中に 6 回行った。

希望者に対して IELTS 試験対策を行った。

中国語検定試験対策として個別指導等を行った。

オ セミナー・個別相談

随時、留学準備のためのセミナーや、科目支援等の個別相談を行った。

カ 各種コンテスト参加

・英 語 模擬国連大会

・中国語 「江蘇杯 中国語スピーチコンテスト」

キ デザイン・ゲート

専門科目内での英語プログラムの試行、他大学の専門科目への英語教育導入事例の調査等を行った。その教材は出版される予定である。

(2) その他の活動

ア 小中学校との交流

浜松市内の小中学校・中学校への訪問及び小学校の来学により交流活動を年間 2 回行った。

イ 静岡グローバル学生フォーラム

本学、静岡大学、静岡県立大学の学生によるグローバル問題をテーマとした、英語でのディベート大会を行った。

9 情報システム等の整備

(1) 学内ネットワーク装置の更新

機器の更新時期を迎えた学内ネットワークサーバ、ネットワーク機器等の更新を行った。

(2) 情報系教室及び工房等の機器の更新

リース期間満了に伴い、情報系教室及び工房の機器を更新した。

10 自己点検・評価の実施

(1) 全学的な点検・評価

平成 28 年度に受審予定である認証評価機関が行う説明会に参加し、自己点検・評価とその後受審する外部評価に向けた情報の共有を図るなど、準備に取り組んだ。

(2) 学生による授業評価

学生による授業アンケートを前期・後期に実施し、その結果を教員にフィードバックするなど授業改善を図った。また、学生の授業評価に対するコメント集を作成し、学生の授業に対する姿勢・態度等への反省や、授業への期待・意欲を高める機会とした。

・平成 27 年度後期分の概要

区分	内容等
対象科目	後期科目 306 科目のうち 300 科目（ゼミ、卒論等を除く）（実施率 98.0%）
質問項目	「学生自身の取組」「授業の内容や理解」「学習の成果」「授業の運営」「総合評価」「自由記述」など 10 問程度
回答率	76.7%
総合評価	4.2 < 5 点満点での評価による >

11 SD（スタッフ・ディベロップメント）への取り組み

事務職員の研究・研修助成制度の活用促進、公立大学協会や日本能率協会等の外部団体主催の研修会に積極的に参加して SD 活動の推進を図った。

12 防災対策の実施

(1) 危険箇所の解消

地震発生時の学生、教職員への身体危害防止のため、学内にある吊天井構造箇所（講堂、学生食堂、文化・芸術研究センター）の天井落下防止対策工事を施工した。

(2) 防災訓練の実施

学生、教職員、来学者等を対象とした避難訓練を実施したほか、本学が一時避難所となることを意識して HUG（避難所運営ゲーム）を初めて実施した。

(3) 安否確認システムの運用

平成 25 年度に導入した安否確認システムを避難訓練時に運用することにより、学生・教職員の安否状況の把握や防災情報の配信が正常に稼動することを確認した。

13 ハラスメント防止対策の実施

ハラスメント防止啓発リーフレットを全学生及び全教職員に配布して、防止意識の啓発を行うとともに、教員、事務職員を対象に、弁護士による判例事例を学ぶ研修会を実施するなどして、防止意識の向上を図った。

平成 27 年度 事業別執行額の状況

(単位：千円)

大区分	中区分	事業区分	決算額	内容	
教育研究経費	教育経費	入試経費	12,210	募集要項・試験問題作成費、試験実施経費	
		FD 活動経費	2,114	学科別研修会開催経費ほか	
		学生経費	83,971	教材購入費、教育備品修繕費ほか	
		教育施設等修繕・管理経費	214,007	水道光熱費、設備管理委託費ほか	
		工房系教室情報システム経費	91,286	情報システム機器リース経費	
		学生支援経費	30,716	授業料減免、奨学金給付経費ほか	
		就職支援事業費	15,593	企業等訪問、就職ガイダンス、開催経費ほか	
		地域貢献事業経費	9,009	自由創造工房開放、公開講座、実施経費ほか	
		国際交流事業費	19,988	外国大学との交流事業経費ほか	
	研究経費	教員研究費	124,541	専任教員の教員研究費ほか	
		文化・芸術研究センター管理運営経費	1,921	印刷物発行経費、センター管理経費ほか	
	教育研究支援経費	図書館経費	32,311	図書館施設管理費、図書購入費ほか	
		情報システム経費	141,654	情報システムのメンテナンスほか	
	教員人件費	教員人件費	934,377	専任教員等の人件費	
		非常勤教員経費	57,751	非常勤講師等の報酬	
	一般管理費	管理経費	大学広報経費	31,411	大学パンフレット作成費、広告、掲載経費ほか
			教職員住宅経費	20,689	職員住宅維持管理費、借上住宅賃借料ほか
施設・設備等修繕・管理経費			134,478	施設修繕費、警備、設備管理、委託費ほか	
大学運営一般管理費			44,073	事務局消耗品、電話料、複写機、使用料ほか	
学生募集経費		17,696	受験情報誌等広告、説明会開催経費ほか		
役員報酬		役員報酬	63,162	常勤役員及び非常勤役員等の人件費	
職員人件費	職員人件費	502,627	常勤職員等の人件費		
受託研究等経費			12,930	学外機関からの受託研究、受託事業経費	
合計			2,598,517		

*表示単位について

金額は千円未満を四捨五入で表示しているため、合計金額と一致しないことがある。

(参考) 静岡国際オペラコンクールに係る事務の実施

ア 第8回静岡国際オペラコンクール開催準備
審査委員及び指揮者等の候補者選定

イ 国際音楽コンクール世界連盟総会出席及び海外歌劇場等訪問

第8回コンクール開催について世界のオペラ関係者の協力を依頼

a 期 日 平成27年5月6日(水)～12日(火)(イタリア)

b 会 場 等 世界連盟総会：ボルザーノ市
歌劇場等訪問：フィレンツェ”ルイジ・ケルヴィーニ”音楽院、
コムナーレ劇場

ウ 第5回県民オペラ「イリス」の開催

a 日 時 平成28年2月14日(日) 午後2時から

b 会 場 アクトシティ浜松大ホール

c 公演監督 木村俊光(静岡国際オペラコンクール・コンクールアドバイザー)

d キャスト 吉田珠代(第6回静岡国際オペラコンクール第2位・三浦環特別賞)、
水船桂太郎、町英和、大塚博章、大石真喜子、望月光貴、壽明寛

e 合 唱 コーロ・デル・ソーレ

f オーケストラ 浜松フィルハーモニー管弦楽団

g 入場者数 1,345人

h そ の 他 ポスターデザインを本学学生が制作